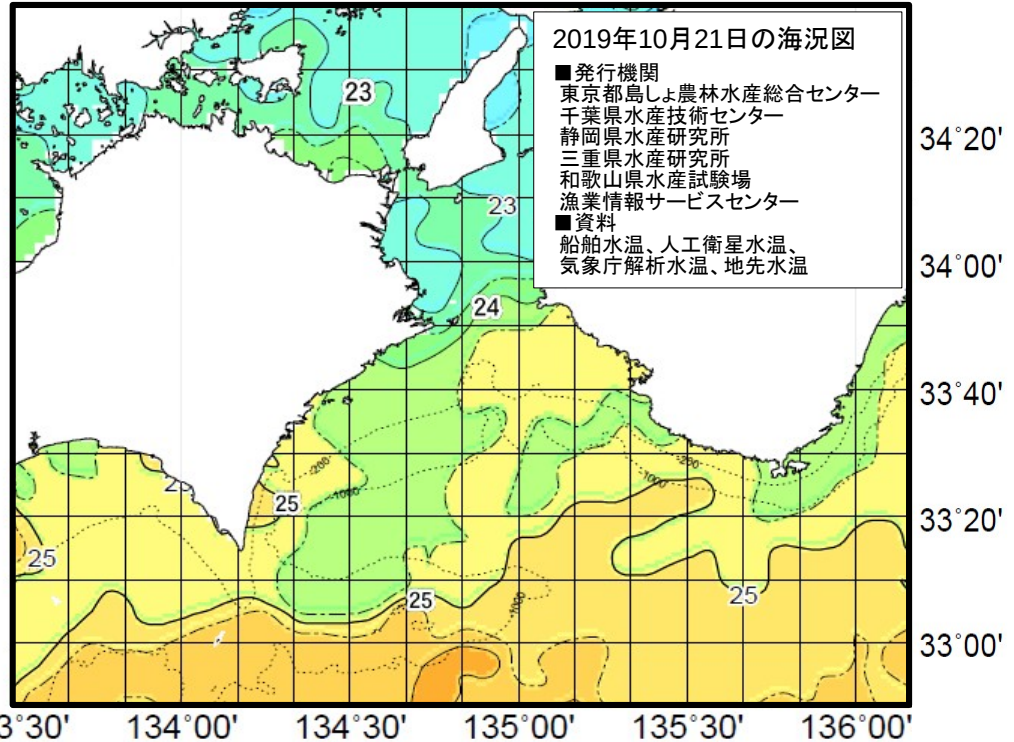


## 海況

### 1. 周辺海域の水温等

黒潮は、四国沖を離岸して東北東に流れ、紀伊水道～紀伊半島沖合で大きく南に屈曲する流路をとっており、室戸岬沖、潮岬沖とも「離岸」～「著しく離岸」で推移している。21日時点では、屈曲点が東進し、室戸岬沖、潮岬沖とも「離岸」となっている模様。黒潮の表面温度は26℃～27℃台。

徳島周辺海域の水温は、播磨灘で23℃台、紀伊水道で22℃～23℃台、海部沿岸で23℃～24℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～  
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：25～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

(いずれも正南方向)

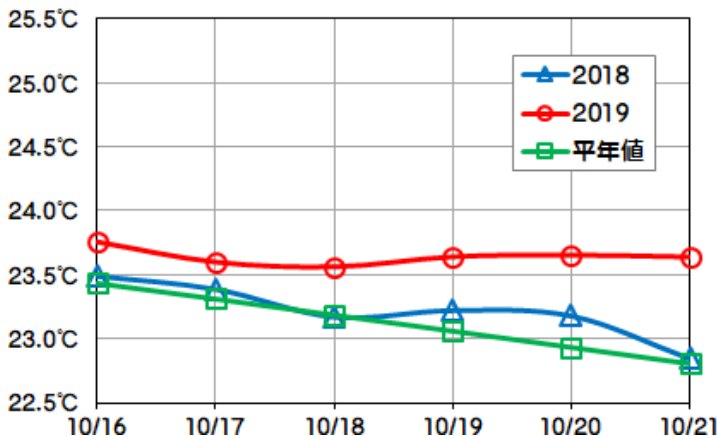
直近4日分の海況図を「地先水温情報」のページに掲載しています。

### 2. 地先水温(10月16日～10月21日)

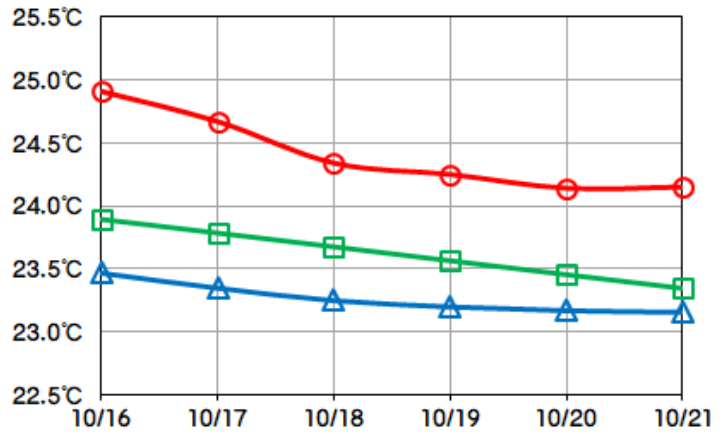
鳴門地区の水温は23.8℃～23.6℃とほぼ横ばいで、平年水温が低下していく時期であるため、前半「平年並み」だったが、後半には「やや高め」となっている。

日和佐地区の水温は、「やや高め」の24.9℃～24.1℃で推移した。

#### 鳴門地区



#### 日和佐地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満  
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2018年の平滑平均値

### 3. 週間予報(10月22日～10月29日)

鳴門地区の水温は「やや高め」～「平年並み」、日和佐地区の水温は「やや高め」で推移する見込み。  
黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも「離岸」～「著しく離岸」で推移する見込み。

漁況 2019年10月14日～2019年10月20日

建網は17日頃まで月夜休み、海部沿岸は小型定置網の操業が低調。

1. 紀伊水道（標本漁協：3）

船びき網では、シラスが25ト水揚げされた。

延縄では、サワラが大きく減って2kg級主体に1.4ト、タチウオが大きく減って特大主体に0.4ト、シマフグが減って0.3ト水揚げされた。

建網では、カワハギが大主体に0.3ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが大きく増えて2.3ト、カンパチが大きく増えて1.1ト、イサキが大きく増えて大主体に0.7ト、ヘダイが大きく増えて0.7ト、ブリが減ってつばす級とめじろ級に0.6ト、マダイが大きく増えて0.4ト水揚げされた。

底びき網では、マアジが大きく増えて特大主体に0.6ト、カンパチが大きく増えて大主体に0.6ト、クマエビが減って0.3ト、ハモが大きく減って中主体に0.2ト水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協：4）

釣りでは、キハダが大きく増えて1.2ト、タチウオが減って0.7ト、シイラが大きく増えて大主体に0.2ト、カンパチが大きく増えて0.2ト水揚げされた。

延縄では、キダイが減って大主体に0.2ト水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲量が多いものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	50	シラス	25,000	500		→
	延縄	40	サワラ	1,371	34	2kg級主体	↓↓
		27	タチウオ	359	13	特大主体	↓↓
		31	シマフグ	312	10		↓
	建網	50	カワハギ	318	6	大主体	→
	小型定置網	23	マアジ	2,349	102		↗↗
		18	カンパチ	1,117	62		↗↗
		17	イサキ	681	40	大主体	↗↗
		19	ヘダイ	650	34		↗↗
		21	ブリ	635	30	つばす級とめじろ級	↓
		22	マダイ	444	20		↗↗
		15	アイゴ	333	22		↗↗
		7	メジナ	319	46		↗↗
		15	ころだい類	238	16		↗↗
		底びき網	9	マアジ	632	70	特大主体
4	カンパチ		608	152	大主体	↗↗	
19	クマエビ		253	13		↓	
海部沿岸	釣り	6	キハダ	1,158	193		↗↗
		17	タチウオ	747	44		↓
		3	シイラ	182	61	大主体	↗↗
		17	カンパチ	154	9		↗↗
	延縄	4	キダイ	158	40	大主体	↓

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↓ 50%未満:↓↓